

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	利用者の居室に訪室時、ノックし了承を得て入室することとなっているが、利用者不在でドアが空いている場合には了承を得ず入室することがある。	訪室時は必ず声掛けし、利用者に了承を得て入室する。	教室に訪室時(カーテン開閉、掃除、入浴準備、洗濯物の片づけ等)には、ご本人に声掛けし、了承を得て入室する。利用者が居室にいる時には、ノック・声替え後に入室する。	3 か月	
2	18	利用者1人ひとりの口腔内の健康状態について、丁寧には確認及び把握できていない。ご自身で口腔ケアされている方や新規入居者、歯科往診を受診してない方など)	口腔内の清潔保持、状態の把握を丁寧に実施する。	新規入居者や歯科往診を受けていない方などについて、家族や歯科に相談し定期的に受診してもらい、より詳しく口腔内状態を把握する。	3 か月	
3	37	年3回、かがやき便りを発行・送付し日々の様子を伝えている。しかしコロナ禍の為、面会制限があり利用者の状態を家族により詳しく伝えきれない。事業所運営内容や変更点など都度、報告できておらず、家族の理解を得られていない。	日々の様子がわかる内容を検討し、家族へ報告する機会を増やす。  事業所の運営内容や変更について細目に報告を行い理解を得るようにする。	年3回のかがやき便り以外に、近況報告や写真等を送付する機会を増やす。  運営推進会の議事録を家族へ送付する。	3 か月	
4	40 49	サービス評価の取り組み、評価結果、目標達成、達成計画など家族へ報告が不十分であり、取り組みのモニタリングができていない。	家族・地域の方々にサービス評価の取り組みを理解して頂く。	家族や地域の方々に結果報告、取り組み状況の確認などのモニタリングへの協力いただけるような体制を検討する。	3 か月	
5	51	地域に向けて情報発信する等、外部への相談支援などあまりできていない。	地域ケアの拠点として機能が活かされるようにしていく。	相談支援の充実や地域で開催されるイベント(公民館等)に積極的に出向き、介護教室などを担う。コロナ禍が落ち着いた頃に、地域イベント参加や、施設に来訪頂ける機会を設けていく。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印 )
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )